

ボールパーク整備検討会議 第2回検討会議資料

青森県

0.議事

1. 前回の会議等で出された質問への回答について

- ① 参考資料1-2 野球場×○○として平日利用に関すること
- ② 参考資料2 野球場の規格・規模・機能に関すること

2. これまでの意見のまとめについて

3. 整備に向けた基本的な考え方（案）について

これまでの経緯

- 第1回検討会議 8月27日（火）
- 委員ヒアリング 9月27日（金）～10月5日（土）
- #あおばな 9月29日（日）
※青森市内高校生と知事との対話集会

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球関係①> 野球のプレー環境や観戦環境に関すること

委員の意見・#あおばな

- プロアマ問わず選手が「ここでプレーしたい」という憧れを持てるような野球場を目指すとよい。
- 選手のモチベーションを上げるため、応援の方々などがアクセスしやすい場所に新球場ができると望ましい。（東北地方内は山間部に位置する球場が多く不便。）
- 観客席においても夏季の日差しを避けるための屋根（銀傘）などの工夫が必要。
- 観客席がグラウンドに近いとプレーが間近に感じられ、観戦の楽しさや応援の盛り上がりにつながるのではないか。
- 他県では、ゆったりとした観客席や勾配をゆるやかにしている事例があり、参考にすべき。
- 臨場感ある中継画像でテレビ観戦の方も楽しめる施設にしたい。

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球関係①> 野球のプレー環境や観戦環境に関すること

意見まとめ

- 「ここでプレーしたい」と選手が憧れを抱く野球場
- 多様な観戦環境があり、何度も応援や観戦に来たくなる快適で楽しい野球場
- 夏の日差しや雨天時の観戦に対しても工夫がある野球場



2. これまでの意見のまとめ

事務局案であり、議論の深堀を希望

<野球関係②> 屋内・屋外球場関係、練習環境や技術力向上に関すること

委員の意見・#あおばな

- 冬季の練習機会確保のため、屋内施設の整備は必須と考える。ただし、「球場」もしくは「屋内練習場」として整備するかは予算の都合もあるかと思う。「屋外球場」とした場合でも、「屋内練習場」の設備が充実していることが重要。
- 屋内練習場では、冬季の積雪時に、自主練や練習試合（※主に軟式野球、高校野球は規定があり“試合”ができない）ができるの良い。バッティングやピッチングが分けて行える場所だと良い。最新のテックを活用するのも良い。
- 屋内練習場としてトレーニング設備や先進的な測定器などを用意することで、一般的な設備しか持たない公立高校も含め、県全体の高校球児の技術向上が図られる。左利き用の設備や道具など、他施設や学校には整備されにくいものを備えるべき。
- 各種大会運営を天候に左右されず確実に実施できる環境があると運営者としてはありがたい。また、近年ゲリラ豪雨や酷暑の頻度が高まっているため、選手・応援や観戦をする方にとっても利があるため、屋内球場（ドーム球場等）を希望する。
- ダグアウト内は、夏場非常に熱く熱中症となる危険性が高いのでエアコン・扇風機などの空冷対応は確実に実施したい。

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球関係②> 屋内・屋外球場関係、練習環境や技術力向上に関すること

委員の意見・#あおばな

- 屋内球場は空調がないと冬季は屋外より冷えるため、冬季の利用を想定した場合空調が必須となる。建設・維持管理費用を捻出するより、屋内練習場の設備や空調、また人工芝・グラウンドレベルの適切な維持管理に費用を掛けた方が望ましい。（屋外球場+屋内練習場を希望）
- グラウンドは、選手としては天然芝がプレイしやすい。人工芝だと疲れも溜まりやすい。
- 維持管理する立場としては人工芝の方が容易で、雨天や春先の雪解け時期でもプレー機会を確保できる。養生期間も不要のため利用頻度も高まる。
- 人工芝については、県内及び東北地方内の球場において、十分に適切な維持管理ができていないため、アンツーカーとの間に段差ができていない施設もある。整備して終わりではなく、適切な維持管理が必要。
- 外野の芝生でヨガやダンス、体操といった多目的な活用を検討。

2. これまでの意見のまとめ

事務局案であり、議論の深堀を希望

<野球関係②> 屋内・屋外球場関係、練習環境や技術力向上に関すること

意見まとめ

- 季節、天候にかかわらず、野球やトレーニングができる野球場
- 野球に関する技術力の向上に繋がる
- 野球場の芝・グラウンドの状態が適切に保たれる
- 多目的な利用ができる野球場



2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球関係③> こどもから大人まで楽しめる野球場に関すること

委員の意見・#あおばな

- 全国的にみて冷涼な青森県では、県外からの練習試合や合宿利用等のニーズが高い。宿泊機能、飲食機能を含む付帯施設を整備してはどうか。企業研修などスポーツ以外の利用も考えられる。
(※青森県新総合運動公園にあるマエダアリーナの合宿所は休日は予約でいっぱい。平日の利用促進はまちづくりの取組と併せた解消が必要)
- 東北地方において軟式野球の全国大会を招致できていないのは青森県だけ。これから全国大会も地方を持ち回りで開催することになるため、青森県としても手を挙げたいので、対応できる球場にしていきたい。全国大会では応援のため全国から家族や関係者が集まるので、県内にとっても経済効果が期待できる。
- プロ野球（NPB）のほか、独立リーグ（IPBL）も着眼点のひとつにしてはどうか。独立リーグの球団の設立ができれば、青森らしさ・差別化に繋がり、野球をする方たちの選択肢が増え、こどもにも夢を持たせられ、本物に触れる機会も得られるのではないか。

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球関係③> こどもから大人まで楽しめる野球場に関すること

委員の意見・#あおばな

- こどもたちに夢や目標となる姿を見せてあげられるよう、プロ野球や、野球が上手な人との交流ができる施設にしたい。
- プロ野球の招致は弘前の「はるか夢球場」があるので、取り合いになるようなことは避けるべき。
- 球場もお互いが高めあうことが大事なので、県営野球場もプロ野球の招致を目指すべき。結果的に県内の球場のレベルが上がることを期待される。
- 野球人口の底上げに繋がるような施設を目指すべき。そのためには、小さなこどもたちがボールに触れる機会を丁寧につくっていくことが重要。その際には、競争を重視するのではなく、ボールで遊ぶことの楽しさが伝わるような仕組みが望ましい。

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球関係③> こどもから大人まで楽しめる野球場に関すること

意見まとめ

- 県内外から多くの人を訪れ、地域振興に繋がる
- こどもたちが憧れの選手と交流できる
- 小さな頃からボール遊びの楽しさに気づける

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球以外①> 健康づくり・他のスポーツに関すること

委員の意見・#あおばな

- 平均寿命、健康寿命の延伸に向けて、県民が雪が多い冬でも体を動かせる場所としたい。（ウォーキング、ランニング、ゲートボール、スキー、スノーウォーク等）
- 近年、人気が高まっているスポーツ（スケートボード、3 on 3、3x3バスケットボール、ボルダリング、ダンス等）が楽しめるような場所としたい。一流の設備が使用できる場所であることが望ましい。
- 予約なしにふらっと行って、無料で運動できる場所があるとよい。
- 日常的な県民利用の場となるように、生活の動線に紐づけることが重要。
- 野球場に整備する諸室について、大会期間外はコワーキングスペースや会議室として有料貸出することで、稼働率向上と収益化が考えられるのではないか。

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球以外①> 健康づくり・他のスポーツに関すること

委員の意見・#あおばな

- こどもの遊び場は、子育て世代の方々には需要が高い。遠くの県内からも人が来るように、こどもを飽きさせず長く遊ばせられるような施設や工夫があると良い。
- 「京都サンガスタジアム」のように学童保育や保育所を併設し、芝生部分でこどもが運動できるようにする考え方が良い。
- 公園でボール遊びが禁止される等、昔に比べてこどもが運動する機会が減少している。こどもの肥満防止や運動能力の向上のため、幼児～小学生低学年が安全に体を動かせる場所にしたい。
- 学校では部活動から地域クラブに移行する動きが加速し、さらに共働き世帯の増加など、社会的要因により、こどもが野球をしたくてもできない状況が増えてくる（送り迎えが出来ない・道具類が揃えられないなど様々な理由により）。そのような社会的な課題を踏まえ、野球をきっかけにした、子育て支援につながるような機能、設備、使い方を考えるべき。

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球以外①> 健康づくり・他のスポーツに関すること

意見まとめ

- **野球以外のさまざまなスポーツが楽しめるボールパーク**
- **収益性に配慮したボールパーク**
- **日常的に使われるボールパーク**
- **こどもが安全に遊び、運動できるボールパーク**

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球以外②> 青森らしさに関すること

委員の意見・#あおばな

- 青森のシンボルとなる、県民が夢と誇りと愛着を感じられる空間とするべき。青森型のライフスタイルを発信し、県民の人生を豊かにする機会を提供できる施設にしたい。
- 雪やねぶたなどの全県伝統文化、地域の山々など、青森らしい風景を施設に取り込むべき。
- 商業施設（飲食物販等）を併設することで一日中過ごせる場所になる。学生が放課後、友人と過ごせる楽しい場所になったり、観光客がわざわざ行きたいと思える場所にすることができれば、将来に渡って利用してもらえるのではないか。アクセスしやすい場所というのが重要となる。
- これまで実現できなかった様々なエンターテイメントが開催され、県内外から多くの人を訪れ、シャワー効果でまちも賑わい、青森の食や工芸が世界に広がっていくような施設にしたい。
- 時間をかけても行く価値のある場所にしたい。

2. これまでの意見のまとめ

意見のまとめ方、追加等について意見交換

<野球以外②> 青森らしさに関すること

意見まとめ

- 県民の誇り・愛着につながる、世代を問わず居心地の良いボールパーク
- 青森の食や文化・工芸の体験、またエンタメ性の高いイベントなど、色々な消費が生まれ、まち全体が賑わう原動力となるようなボールパーク
- 青森の良さを世界に広げるPR活動、情報発信機能の拠点

3. 整備に向けた基本的な考え方（案）

- ① 「**する人・みる人・ささえる人**」が**使いやすい**野球場
- ② 「**賑わいと交流の拠点**」としてのボールパーク
- ③ 「**青森らしさ**」を感じられる、**県民が誇れる**ボールパーク